

外の雑縁なく正念を得るが故に

『往生礼讃』

鳳舞



禅林八十九才



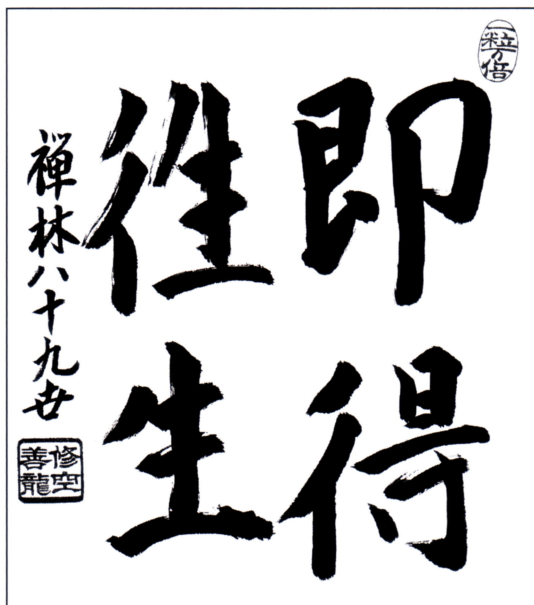
浄土宗の日課数珠は、お念佛の数を数えるようにできています。男性用の大きな玉を繰ると三万回、女性用の小さな玉では六万回念佛が数えられます。ためしに日に一玉繰ったとして、一年で三百六十五玉、平均寿命八十三才まで毎日繰ったとして、やっと三万回になります。長いようで手のひらに収まるほどなのです。

一日一日を、ひと玉の、ひと声の念佛とともにありたい。

総本山 永観堂 禅林寺

即得往生  
極楽国土

(阿弥陀経)



お腹の中で我が子は亡くなつた。陽の光を見ることもなく、大気を呼吸することもなく。父母の声を聞くこともなく。

この世に生を結んだ証として、命名するはずだった名前を記し、菩提寺の住職より戒名を授かり、お経をいただいた。

私には見えない世界へと旅立つた我が子は、私より先に佛を見、私より先に教えを聞いているのだと、住職が言われた。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長小木曾善龍親下のご染筆です。前々号の色紙は、京都市在住塩田清美様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。三月十日に抽籤し一名に進呈。

## 捨此往彼

信謗ともに縁として、先に  
生まれて後を導かん

法然上人

往 捨  
彼 此

永観堂九十世法主 玄禮



「あの世なんてあるもんか、死んだら終わりだよ。生きてるうちが花さ」

彼の言葉を聞いてみると、鳴き過ごしたセミがぼたりと地面に落ちている様子が見えた。立ち枯れたユリが見えた。

でも、私がセミなら、地上で鳴いていた一週間だけが私の一生なのではなく、自分でも気がつかずに地下に埋もれていたときから既に、私は生きていたことを知りた

い。  
私がユリなら、花は捨てられても来年再び新たな芽を伸ばすことを喜ぶたい。

総本山 永観堂 禅林寺

## 至誠心

観無量寿經

至誠心

永観堂九十世法主 玄禮



『観無量寿經』のなかには、「至誠心」（じじょうしん）を持ちなさいとあります。一般的には、「しせいしん」と読みますし、まことに至ろうとする心と解釈できます。これを佛教語として読むと、「じじょうしん」と言います。そしてこの心は、私たちがまことに至ろうとするものではありません。私たちをすぐいってやまないという阿弥陀如来からの「至れるまことの心」に、思いをはせなさいと解釈します。阿弥陀如来からのねんごろなお慈悲を、私たちがいただくとき、南無阿弥陀仏の声が生れてきます。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、東大阪市在住吉原洋様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。五月十日に抽籤し一名に進呈。

# 西方最可帰

往生礼讃

来帰去

永観九十九世  
義空玄禮



人の「死」についての考え方が  
変化しつつあります。

日本人は、いったいどこへ向か  
おうとしているのでしょうか。あな  
たはどこに向かおうとしているの  
ですか。

生きる道に迷うということはそ  
れだけ生への執着に囚われている  
ということ。自分がそれだけ可愛  
いということ。死んだらそこでお  
しまい。それでいいのですか。

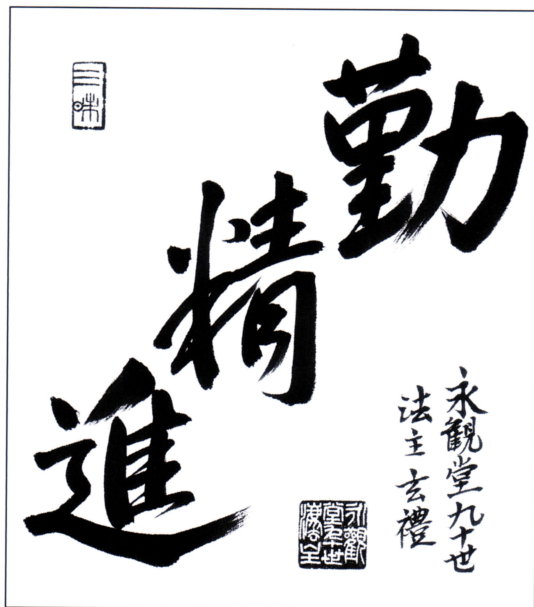
この世と別れても私には帰るべ  
き場所がある。そう信じることで  
生きてきた道を確認できる。皆の  
しあわせを願うことができる。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都市在住辻本義治様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。六月十日に抽籤し一名に進呈。

勤  
精  
進

無量寿経



『百喻経』のなかに、こんな話があります。

友人の三階建ての家がとても気に入ったので、自分も建てることにしました。設計ができて、ようやく仕事が始まろうとすると、その男は言いました。「わしは三階がほしい。一階や二階はどうでもいい。早く三階を造れ」

家だつたらわかるのです。一階が無くては二階が無いことを。二階が無いと三階が建てられないことを。

あなたの一階や二階はしっかりしていますか。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都市在住高橋勝美様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。七月十日に抽籤し一名に進呈。

# 思想恩好

無量寿経

亡くなった人の恩愛とよしみを思い出すこと

思想  
恩好

永観堂法主 玄禮



高校生のAさんは、おばあさんのことが大好きでした。

指先が器用でいろんな作品を作ったり、音楽も好きで楽器を演奏したり、元気に旅に出かけるおばあさんのことが大好きでした。

ある日、体調を崩したおばあさんに会ったとき、今までありがとうと伝えようとしたのです。でも、ためらってしまいます。ありがとうと言ってしまうと、お別れを言うように感じてしまったから。

しばらくして、ありがとうと言う前に、おばあさんは浄土に旅立ってしまいました。

あのときに、きちんと言えばよかったという悔いがあるけれど、でも、今はお佛壇の前で伝えます。ありがとう、と。

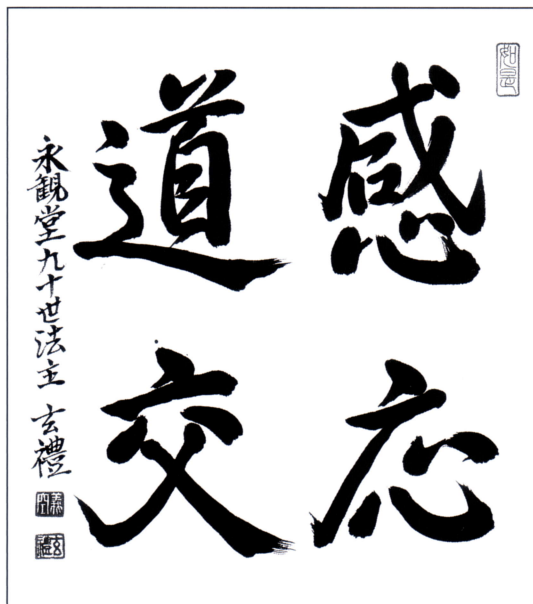
総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮祝下の「こ染筆」です。前々号の色紙は、京都市在住湯浅嘉子様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。八月七日に抽籤し一名に進呈。



## 感応道交

源信『阿弥陀経略記』



私たちは、事あるごとに他人と比べてしまいがちです。学歴、体力、経済力、年齢、男女……、そして、他人よりも上か下かの物差しを作ります。

幸せの基準も同じ物差しで測ってみようと考えます。でも、その物差しでは、幸せは測れません。

「そんな測り方しかできない愚かな私たち」に、呼びかけて下さるのは南無阿弥陀佛なのです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮様下のご染筆です。前々号の色紙は、たつの市在住鈴村倉藏様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。九月十日に抽籤し一名に進呈。



口常行慈  
(いつも慈しみの言葉を)

大般涅槃經

口常行慈

永觀堂法主 義堂玄禮



「ありがたい」とは「有り難い」と書きます。

物があふれた今では「有る」ことより「無い」ことが珍しいですね。「無い」ことばかりに目がいつて、あれも無い、これも無いと不足ばかり。

「ああ足りんなあ」不足を言うほど何かが無くなつていきます。

「ありがたい」その一言だけで何かが生まれてきます。

何故つて? 「ありがとう」には言う相手があります。その誰かさんのことを想う言葉だからなのです。

総本山 永觀堂 禅林寺

法眼  
(正しき教えを見る力)

無量寿經

法眼  
観察

永観堂法主 義堂玄禮



坂を上がつたところにあるお寺の  
伝道揭示板に

知っていますか

じゃがいもを食べるとき

茎や葉っぱを

捨てていることを

と書かれてありました。

ものを大切にする心、もったいな  
い心は、目の前にある物だけではな  
く、その向こうにある事実にも気付  
かせてくれます。

目に見えなくても、つながってい  
ることを。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、福井市在住沼崎都様に贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。十一月十日に抽籤し一名に進呈。

あいともに

賢く愚かなること

みみがね  
鑲の端なきがごとし

十七条憲法

共是  
凡夫

永観堂法主

玄禮



オレは賢い！  
アタシ利口よ

そう

えらそうに  
威張りなさるな

オレは無能だ！  
アタシ馬鹿よね

なあに  
気にしなさるな

人間だれしも  
耳飾りの

輪っかのように  
グルッと回って  
みな同じ

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猷下のご染筆です。前々号の色紙は、千葉県船橋市在住佐々木啓子様へ贈呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。十二月十日に抽籤し一名に進呈。

# 徳香流布

徳をそなえた香りは、世界に広がる

無量寿経

徳香

# 徳香流布

永観堂法主

玄禮

印

詩人まど・みちおさんの最も有名な作品が、「ぞうさん」です。

ぞうさん

ぞうさん

おはなが ながいのね

そうよ

かあさんも ながいのよ

歌詞を見ると、子象が「お前の鼻は長いなあ」と、まるでからかわれているような情景がわかってきます。

でも子象は、からかわれることなど意に介さないどころか、大好きなお母さん象を誇りに思っていて、「お母さんと一緒に、お鼻が長いのよ」とうれしそうに答えています。

母子の愛情を感じるこの詩は、昭和二十三年という焦土の東京で書かれています。荒廃した時代に、親を想うやさしさを言葉にしたこの詩は、時代が変わっても私たちに感動を与えてくれます。

総本山 永観堂 禅林寺